

県立高等学校重点校制度に係る事業計画書

学校名 米子工業高等学校

重点項目	専門人材育成重点校	提出日	平成30年1月30日
------	-----------	-----	------------

1 学校目標
1 工業高校生らしいエチケット・マナーと心身の健全な育成 2 キャリア教育の充実と学力向上による進路実現 3 ものづくり人材の育成 4 開かれた学校づくり
2 重点項目に係る目標
1 専門的資格取得を奨励し、ジュニアマイスター取得者を増加させる。 ジュニアマイスター顕彰制度： 工業高校の生徒が取得した資格や検定に点数をつけ、その合計点により評価するもの。社会が工業高校生に求める専門的な資格や知識の指標にもなっている。45点以上でジュニアマイスターゴールドが、30点以上でジュニアマイスターシルバーが授与される。本校でも多くの生徒が各科の特性に合わせたさまざまな資格に挑戦している。資格を持った生徒を求人する企業も多く、資格取得は産業界の要請に応えることでもあり、生徒が多くの資格や検定へ挑戦するようその意識を高めるとともに、学校全体で補習の体制を充実させていく。 以下は得点の一例である。 20点 測量士・測量士補、2級普通旋盤加工技能士、施工管理技術検定など 7点 第二種電気工事士、工事担任者(DD種)第三種など 4点 危険物取扱者乙種4類、情報技術検定2級など
2 インターンシップや県内外の企業見学を通して、専門的な技術・技能に触れ、職業観の育成を図り、将来の進路選択に一層明確な目標を持たせる。
3 将来の地域産業を担う人材を育成するため、高校生ものづくりコンテストや各種大会への参加を奨励し、技術・技能の向上を図る。

<数値目標>

- 1 ジュニアマイスター取得者12名以上。

平成29年度ジュニアマイスター取得者12名。

- 2 学校アンケートで以下の集約結果が全体のそれぞれ80%以上。

生徒対象「インターンシップは勉強になったし、充実していた」

平成29年度97.3%

生徒対象「研修旅行は勉強になったし、充実していた」

平成29年度97.3%

保護者対象「本校は、企業見学、研修旅行、インターンシップ等が充実している」

平成29年度98.6%

- 3 学校アンケートで以下の集約結果が全体の80%以上。

生徒対象「自分は実習を通じて、技術・技能が身についた」

平成29年度98.5%

3 事業計画（事業名、事業概要）

【高等学校課事業】

- 1 土曜授業等実施事業

第二種電気工事士の実技試験に向け、県内有識者を招いて実技のポイントを学ぶ。普段は見落としてしまうような部分も、違う見方で細部まで確認することによって、技術の向上につなげる。

- 2 外部人材活用事業（社会人講師活用事業）

環境エネルギー科の活性化のため、外部よりさまざまな部門で有識者を招き、知識や技能の習得を図る。

- (1) 第二種電気工事の実技試験に向けて

社会人講師を招き、第二種電気工事士の実技試験の講習を受ける。外部講師による講義のため生徒の緊張感も増すとともに、細部まで作品を確認してもらえるので技術の向上につながる。

- (2) LEDの応用について

最新のLEDについて広告塔などの活用例や、照射角・消費電力などについて従来品との差に関する講義を受ける。

- (3) 音の制御技術について

自動車内の音響について制御する方法やその原理について学ぶ。

- (4) 地球環境について

現在地球で起こっている環境破壊などについて学習する。

3 鳥取県版キャリア教育推進事業

(1) 社会人となるための心構え ～3年生～

卒業を控えた3年生に、県外より講師を招き、社会の一員となるための心構え、在学中にすべきことなどの指導を受ける。

(2) 先輩に学ぶ ～1年生～

将来の夢や目標がまだ明確になっていない生徒も多い1年生に対し、本校の卒業生が、就職や進学に至った経緯や在学中に考えたことを伝えることによって、将来の進路選択の一助とする。

(3) 先輩に学ぶ ～2年生～

就職や進学を控えた2年生に対して、本校の卒業生が、現在の職業や社会人としての生活、学生生活を送るうえで大切なことを伝えることによって、将来の進路選択の一助とする。

【独自事業】

1 専門的資格取得の推進

(1) 普通旋盤作業と電気工事の資格取得に対する支援

資格を持った生徒を求人する企業も多く、キャリア教育の一環としての資格取得の推進は産業界の要請に応えることでもあり、職業観の育成とあわせて資格取得をサポートしていく。

2 インターンシップ・県内企業研修・県外企業研修の充実

(1) インターンシップの充実

2年生全員が各科の特性に沿った企業への就業体験を行い、職業人としての心構えを育成する。また企業現場での実習を通して、企業における専門的な知識や技術・技能に触れる。

(2) 企業研修の充実

① 1年生 県内企業研修

地元企業の現場視察を行い、産業界全般に対する認識を深めさせ、将来の進路選択に一層明確な目標を立てさせる。

② 2年生 県外企業研修

関西・東海方面の企業の視察を各科の特性に沿った企業で行い、企業における専門的な知識や技術・技能を見聞し、職業観の育成を図る。

3 ものづくり事業の充実

(1) 高校生ものづくりコンテスト活動支援

ものづくりコンテストは産業の発展を支える技術・技能水準の向上と若年技術・技能者の育成を目標としている。本校はものづくり人材の育成を学校重点目標のひとつに掲げ、積極的に実習等で取り組んでいる。将来の地域産業を担う人材を育成するため、各部門でのコンテストの上位入賞に向けて、年間を通じて技術・技能の向上を図っていく。

(2) 技能オリンピック出場を目指す人財づくり

グローバル人材は世界を目指す環境で磨かれており、ものづくりの優秀な担い手を育成するためにも、最先端を走る企業などを視察し、全国レベルの技術や技能を習得した生徒を育成する。

(3) 各種大会・課題研究への支援

本校の生徒は就職先でもものづくりの職種につくことが多い。そこで、ものづくりに興味関心を持つ生徒を育成するため、自ら企画・設計・製作を行う課題研究を行う。その中で、対外的な大会への参加や加工技術の向上につながるような活動を支援し、生徒の学習に取り組む意欲や加工技術の向上を図っていく。

①マイコンカーの製作

マイコンカーを製作し、マイコンカーラリー全国大会への出場を目指す。

②蒸気エンジンの製作

熱力学や流体力学の学習を通し、環境に配慮した蒸気エンジンの製作に取り組む。

③アイデアロボットの製作

与えられた課題をクリアするためのロボット制作を行い、全国高等学校ロボット競技大会へ参加する。

④レスキューロボットの製作

被災地で救助に当たるレスキューロボットを製作し、レスキューロボットコンテスト全国大会に出場する。またレスキューロボット製作に関して、高大連携の一環として、鳥取環境大学と遠隔ミーティングを行って、指導を仰ぎ、技術と技能の向上を図る。

(4) 環境エネルギー科充実支援

環境エネルギー科では、さまざまな機会を捉えて自然再生エネルギーの活用を模索・研究している。環境に関連した技術を身につけ、地球環境と調和した継続的な技術発展に寄与する工業人を育成するため以下の事業を行う。

①クリーンエネルギー講座の開催

クリーンエネルギー事業に携わる技術者を講師として招き、社会におけるクリーンエネルギーの役割と自分たちにできることは何かを考える。

②ソーラーラジコンカーの製作

太陽光を利用したソーラーラジコンカーを製作し、全国ソーラーラジコンカーコンテストへの出場を目指す。

③指導力向上に向けた講習会への参加

さまざまな分野で、教職員が新たな技術や資格取得に関する研修を行い、指導力の向上を図ることにより、生徒の知識・技術習得や資格取得を推進していく。

④電気系資格取得の推進

第二種電気工事士の資格取得に向け、学科補習、実技試験の練習を外部人材とタイアップして行う。生徒が資格を取得することにより、キャリアアップへの意欲向上につなげる。